

帆走指示書 2020

[SAILING INSTRUCTIONS]

名称 葉山セーリングカレッジ クラブレース

場所 神奈川県三浦郡葉山町森戸海岸沖

主催 葉山セーリングカレッジ

1. 適用規則

1.1 本大会は、2017～2020年国際セーリング競技規則（以下、規則と記す）、日本セーリング連盟規程、当該クラス規則、実施要項（但し、いずれもこの帆走指示書によって変更されたものを除く）及びこの帆走指示書を適用する。

2. 参加申込

葉山セーリングカレッジへ参加の意思を伝え許可を得ることで、本大会に参加することができる。

3. 陸上本部及び参加者への通告

陸上本部は葉山セーリングカレッジクラブハウス2階とし、参加者への通告は同室内に設置された公式掲示板に掲示される。

4. 帆走指示書の変更

帆走指示書に変更がある場合、当日のレースのスキッパーズミーティング時に公示される。

5. 陸上で発せられる信号

陸上で発する信号は、08:00～18:00の間に陸上本部2階に掲揚される。

6. 海上で発せられる信号

L旗が海上で掲揚された場合 本部船から音声での指示がでる。その場合は音声を優先する。

7. 日程

10:00 スキッパーズミーティング

11:00 第一レース開始 引き続き第2,3・・・レース

*15:00以降のスタートはおこなわない

15:00 表彰式&パーティ

8. レース・エリア

レース・エリアは、神奈川県セーリング連盟の定めるFもしくはE海面岸寄り(長者ヶ崎～名島付近)とする。

9. コース

コースはレース前に公式掲示板もしくはセーリングカレッジのホームページにて発表される。

スターティング・ラインからマークへのおおよそのコンパス方位は、可能な場合は本部艇に掲示される。

10. マーク

10.1 マークはオレンジ色の円筒形ブイ、赤色球形ブイ、赤色円筒ブイのいずれかを使用する。

10.2 スターティング・マークは、別途記載がない場合、ブイとオレンジ旗を掲揚した運営艇を使用する。

10.3 フィニッシング・マークは、別途記載がない場合、ブイと青旗を掲揚した運営艇を使用する。

10.4 スタートマークとフィニッシュマークを含むすべてのマークへの接触は失格に代わるペナルティーとして
360° 回転のペナルティーを科す。

ただし接触によりマークの移動やマークの損傷があった場合は失格に代わるペナルティーとして
720° 回転のペナルティーを科す。

11. スタート

11.1 レースは、規則 26 を用いてスタートさせる。

| 信号種類 | 視覚信号 | 音響信号 | スタートまでの時間 |
|--------|----------------|------|-----------|
| 予告信号 | クラス旗(hsc旗)(掲揚) | 1声 | 5分前 |
| 準備信号 | P旗、I旗又は黒旗(掲揚) | 1声 | 4分前 |
| | P旗、I旗又は黒旗(降下) | 1声 | 1分前 |
| スタート信号 | クラス旗(降下) | 1声 | スタート |

11.2 スターティング・ラインは、スターボードサイドの端となる本部艇のオレンジ旗を掲げたポール又はマストと、ポートの端となるスターティング・マークのブイの間とする。

11.3 準備信号がまだ発せられない艇は、スタート・エリアから離れ、準備信号が発せられたすべての艇を避けなければならない。

11.4 個別のリコールがあった場合、規則 29.1 に従い信号を発する。ゼネリコがあった場合、規則 29.2 に従い信号を発する。

11.5 艇は、スタート信号後5分を経過した後は、スタートしてはならない。

12. 黒色旗規則

規則 30.3『黒色旗規則』が適用されたレースにおいては、同規則に違反した艇のセール番号もしくは艇長名が、本部艇あるいは運営艇より口頭で伝えられる。指示された艇はすみやかにレース海面より離れなければならない。

13. マーク位置の変更、コースの短縮

- 13.1 スタート後のマークの位置の変更はおこなわない。
- 13.2 コースを短縮する場合は運営艇にS旗を掲げ長音2声を発する。

14. フィニッシュ

フィニッシング・ラインは、フィニッシング・マークのブイと運営艇の青色旗を掲揚したポールとの間とする。

15. タイム・リミット

タイム・リミットは、先頭艇フィニッシュ後30分とする。なお、当該タイム・リミットまでにフィニッシュしなかった艇は、DNFとして記録される。

16. 抗議

- 16.1 抗議は、陸上本部に用意された所定の用紙に記入の上、そのグループの最終レース終了後60分以内に陸上本部に提出しなければならない。各グループの抗議締め切り時刻は、公式掲示板に掲示される。
- 16.2 抗議は、できるだけ早く、ほぼ受付順に審問される。
- 16.3 抗議の通告は、審問の場所及び時刻、抗議の当事者、又は証人として指名された者を競技者に知らせるため、抗議締め切り時刻後15分以内に公式掲示板に掲示されるものとする。審判は公式な資格を有するものでなくてもおこなうことができる。オンザウオータージャッジを優先する。

17. オンザウオータージャッジシステム

海上でジュリーの旗を掲げたボート、もしくは運営ボート、もしくは本部船から長音の笛を吹かれ、艇のセーリングナンバーまたは艇長名を読み上げられた場合はルールに違反したということであり、笛を吹かれた艇は速やかに違反を解消しなければならない。違反を解消しない場合、規則44.3(c)に従って得点ペナルティーが与えられる。

18. 得点

- 18.1 hsc ヤードスティックを使用する（公式掲示板に表示）
周回数が異なる場合は短いコースの1周あたりの時間を2倍してレーティング表に基づき修正を行う。
修正された時間で順位を決め低得点方式を採用する。
- 18.2 本大会が成立するには、1レースを完了しなければならない。成立したレースが3レース以下の場合すべてのレースが得点としてカウントされる。4レース以上成立した場合は最も得点の悪いレースを除外する。

19. ペナルティーシステム

規則44.2を適用する。

20. 安全

- 20.1 艇長は出艇前及び着艇後速やかに申告を行わなくてはならない。所定の用紙に自艇のセール番号等を記入、署名を行い出艇の申告とする。帰着した後は速やかに帰着の申告を行わなくてはならない。
- 20.2 各艇の乗員は、離岸から着岸まで、適切な個人用浮力体を着用しなければならない。
- 20.3 レースからリタイヤする艇は、可能な限りレース・エリアを離れる前に運営艇にその旨を通告しなければならない。
- 20.4 レース委員会は選手へのリタイヤ勧告をすることができる。リタイヤ勧告されたヨットは速やかにリタイヤし帰着しなければならない。その場合の救済の要求はできない。

21. チームボート

レース運営に従事する艇以外の全ての支援艇観覧艇等は、最初にスタートするクラスの準備信号から、全艇がフィニッシュするか、レース委員会が延期、ゼネラル・リコール又は中止の信号を発するまで、レース・エリアに入ったり、レース運営の妨げとなったりする行為をしてはならない。参加艇の支援を目的とする艇がこれらに従わなかった場合、その支援要員に関連するすべての艇に対し、プロテスト委員会の裁量によるペナルティーが課せられることがある。ただしレース委員会より救助 その他の要請を受けた場合はこの限りではない。

22. 接触や怪我等の責任

参加選手は各自の責任で接触や怪我等の責任を負わなければならない。接触等における艇の損傷または傷害については各自の責任とする必要があれば各自保険等に加入する。

23. チャーターボート艇の衝突による損害

チャーターボートの艇の衝突による損傷は権利艇、非権利艇に関わらず当事者間での責任において現状復帰とし貸し主へ戻す。

24. 乗員の交代

レース前に本部船に乗員交代を伝えることによりレース毎に乗員の変更ができる。乗員交代はレース終了後行なう。

25. h s cクラブレース 2020 シリーズ

h s cクラブレース 2020 シリーズは、2020年1月～12月に合計8レガッタ以上を開催する。開催された全レガッタの獲得ポイントを合計し、最もポイントの高いものを年間総合チャンピオンとする。

25.1 表彰は『年間総合優勝』・『ビギナーズクラス』・『マスターズクラス』とする。

25.2 運営を行った月のポイントは、他に参加した全レガッタ中最も高いポイントをとった月のポイントとする。

26. ビギナーズクラス

葉山セーリングカレッジのトレーニングフリー合格より1年間は、艇長の申告により「ビギナーズクラス」にエントリーできる。

ビギナーズクラスでエントリーされたものは、帆走指示書に以下の変更を適用する。

- ・マークタッチによるペナルティは発生しない。
- ・失格に代わるペナルティ、またはマークとの接触によりマーク位置の移動やマークの損傷があった場合には720°回転とする

27. マスターズクラス

60歳以上出場者は艇長の申告により「マスターズクラス」にエントリーできる。

「マスターズクラス」において帆走指示書に変更はない。